

## 4年間の主な実績

### 暮らし

- 住民票の写しや印鑑証明書、戸籍謄本などがコンビニで取得可能に
- 2,700基の防犯灯とすべての街路灯をLED灯に交換
- 都市計画税を0.2%から0.18%に減額
- 商工会などが行うイベントに補助金を創設
- 地元農産物の販売ルートを拡大
- 耐震性能が不足している市庁舎の建替え方針を決定
- 中央通り停車場線の第2整備工区の整備完了
- 市が管理する6橋りょうを耐震化
- 災害時を見据えて水道庁舎を建設し給水車を配備



### 高齢者

- 宗岡地区に高齢者あんしん相談センター「あきがせ」を開設
- 高齢者の徘徊模擬訓練を地域と開催
- 成年後見制度の利用促進に向けて、全国に先駆けて条例制定
- 既存のタクシーを活用したデマンド交通を導入
- 民間事業者と協力して高齢者の見守りを支援
- 介護予防体操、いろは百歳体操の普及啓発
- 高齢者の新たな拠点として「いろは元気サロン本町」を開設
- いろは健康ポイント事業を開始し、厚生労働省健康局長優良賞受賞



### 子育て

- 学童保育クラブの対象年齢を小学校6年生まで拡大
- 子ども医療費の窓口払いを撤廃
- 小学校4年生に補助教員を配置
- 小中学校の夏休みを短縮、開校記念日を通常授業に変更
- 教育支援員・介助員を30%増員
- 児童発達相談センターを設置
- 保育の定員を973人から1,395人に拡大



### 改革

- 密室議論を廃止し内部会議を公開
- 若者から高齢者まで市政に参加できる人材バンクを設置
- 民間経験者を市職員として採用し組織を活性化
- 市長が市民や各種団体と積極的に意見交換会を実施
- 市民病院をTMG宗岡中央病院に移譲
- 地元経済の活性化に向けた入札制度を改革



# 市民力でつくる 未来へ続く志木

## 確かな 「決断力」!!

志木市長

44歳

# 香川たけふみ



みんなで語る  
志木の夢、  
志木の未来

時が経つのも早いもので、平成25年6月に市民の皆様から市政運営の負託を受けて以来、4年が過ぎようとしています。この間、市民の皆様から志木市の前進に向けてご支援、ご助言、ご協力をいただきました。ありがとうございます。

この4年を振り返りますと、徹底的な情報公開や、市民の声がしっかりと役所に届く仕組みの構築、あらゆる危機に対する安全と安心の確保、市民力に支えられたまちのにぎわいづくりなど、新たなまちづくりを形づくることができました。また、「まちづくり35の実行計画」も90%以上を達成。いよいよ次なるステージのスタートです！

少子化や生産年齢人口の減少に伴う税収の減少など、先行き不安な社会環境…

**将来やってくる大きなうねりに備え、「みんなの笑顔」、そして「持続可能な志木市の土台づくり」に、さらなる一歩を踏み出さなくてはなりません。**

「市民力でつくる 未来へ続くふるさと 志木市」の実現に向けて、4つの戦略プロジェクトを掲げての新たなステージ。

香川たけふみは、数多くの課題を前に「先送りしない信念」を政治信条に、これからも市民一人ひとりと夢を語り、全力で志木市の質と価値を高めていきます。

### 香川たけふみ プロフィール

- ◆ 昭和47年12月15日志木市に生まれる
- ◆ 現在44歳/市議4期 市長1期
- ・ なかもり幼稚園卒園・志木第二小学校卒業・志木第二中学校卒業・明星高校卒業・玉川大学文学部卒業・玉川大学院文学研究科修士課程修了
- 平成12年 志木市議会議員選挙初当選
- 平成15年 政治倫理条例制定特別委員会副委員長に就任 議員倫理向上にむけて取り組みを強化
- 平成16年 二期目当選、議会運営委員長に就任
- 平成18年 志木市議会議長に就任 就任時33歳 最年少議長としてマスコミにも取り上げられる。議長として議員定数削減に向けて調整に尽力。結果、当時埼玉県下最少人数15名の定数に
- 平成20年 三期目当選、議会運営委員長として議会改革に邁進
- 平成24年 四期目当選、志木市監査委員（議会選出）総務委員会委員長就任
- 平成25年 13,950票をいただき、志木市長選挙に初当選 就任時40歳 埼玉県内最年少市長として新聞にも取り上げられる

【家族】妻、長男（5歳）、子育て奮闘中！

討議資料

<http://www.kagatake.com>